



議会だより

なよろ

平成 29 年
6 月定例会

第 45 号

平成 29 年 8 月 1 日
発行



目 次

定例会で決まったこと	2
議決結果・意見書	3
一般質問に 14 人	4 ~ 10
経済建設常任委員会所管事務調査報告	11
政務活動報告	12 ~ 13
議会報特別委員会、議会改革調査特別委員会行政視察報告	14 ~ 15
常任委員会委員等の選任	16
各委員会活動報告	17 ~ 19
きぼう・編集後記	20

題字 風連中央小学校 齊藤 ももか(さいとう ももか)さん

平成29年 第2回定例会 6月9日～6月23日

風連中央小学校校舎・屋内運動場等改築事業工事請負契約締結案を可決

平成29年第2回定例会は、6月9日から23日までの15日間開かれました。議案審議では、条例案等1件、補正予算2件、その他11件、意見書案5件、報告8件、諮問1件を審議しました。最終日の追加議案では、昭和47年の開校以来45年が経過し、施設、設備の老朽化が著しい、風連中央小学校校舎、屋内運動場等の改築工事請負契約案を可決しました。児童のため安全で快適な学習環境の整備と地域に開かれた学校として平成30年11月完成にむけ工事に着手する予定。また、6月21日、22日、23日の一般質問では14人の議員が市政の課題について質問しました。

条例の一部改正

名寄市下水道設置条例の一部改正

名寄市公共下水道事業認可が平成29年3月で事業の認可期限を迎えたことから、事業期間の延伸及び事業区域や計画人口等について、名寄市総合計画（第2次）等の上位計画との整合性を図りながら見直しを行い、事業計画変更の認可を北海道知事より受けたことに伴い条例の一部を改正するものです。



築45年が経過した風連中央小学校

主な補正予算

地域交通対策事業費
風連御料線のバス運行形態見直し調査及び風連御料線実証運行業務委託に係る経費として290万円を追加しました。

地域おこし協力隊事業費
新たに採用する農業支援員の住宅改修費として94万円を追加しました。

経営体育成支援事業費

地域の担い手の育成確保の推進のため農業機械等の支援の経費353万4千円を追加しました。

ピヤシリスキー場整備事業費

スキー場のゲレンデ環境向上のため、第1ゲレンデ明渠管設置工事及び第2ゲレンデパーク整地土盛り工事費用182万円を追加しました。

大学教育振興事業費

不正アクセス防止に対するセキュリティ体制強化に伴う保守料の増加と、より一層のセキュリティ環境の構築に対する費用169万5千円を追加しました。

人事案件

人権擁護委員の候補者の推薦に同意。

上口 里 美氏（新任）
名寄市風連町字中央12
82番地

今田 佳 子氏（再任）
名寄市西7条北1丁目8
番地

長谷川 良 雄氏（再任）
名寄市西2条南6丁目25
番地

臨時会（5月10日）

平成29年第2回臨時会が5月10日に開催されました。名寄市税条例の一部改正など4件について審議され、原案のとおり可決されました。

人事案件

名寄市教育委員の任命に同意。

中枝 範 子氏（新任）
名寄市西3条南6丁目28
番地3

平成 29 年 第 2 回臨時会議決結果

議案番号	件 名	結 果
議案第 1 号	名寄市教育委員会委員の任命について	同意
議案第 2 号	専決処分した事件の承認について（名寄市税条例の一部改正について）	承認
議案第 3 号	専決処分した事件の承認について（名寄市都市計画税条例の一部改正について）	承認
議案第 4 号	専決処分した事件の承認について（名寄市国民健康保険税条例の一部改正について）	承認

平成 29 年 第 2 回定例会議決結果

議案番号	件 名	結 果
議案第 1 号	名寄市下水道設置条例の一部改正について	原案可決
議案第 2 号	財産の取得について（除雪グレーダ）	原案可決
議案第 3 号	専決処分した事件の承認について（平成 28 年度名寄市一般会計補正予算）	承認
議案第 4 号	専決処分した事件の承認について（平成 28 年度名寄市国民健康保険特別会計補正予算）	承認
議案第 5 号	専決処分した事件の承認について（平成 28 年度名寄市介護保険特別会計補正予算）	承認
議案第 6 号	専決処分した事件の承認について（平成 28 年度名寄市下水道事業特別会計補正予算）	承認
議案第 7 号	専決処分した事件の承認について（平成 28 年度名寄市個別排水処理施設整備事業特別会計補正予算）	承認
議案第 8 号	専決処分した事件の承認について（平成 28 年度名寄市後期高齢者医療特別会計補正予算）	承認
議案第 9 号	専決処分した事件の承認について（平成 28 年度名寄市病院事業会計補正予算）	承認
議案第 10 号	平成 29 年度名寄市一般会計補正予算（第 1 号）	原案可決
議案第 11 号	平成 29 年度名寄市後期高齢者医療特別会計補正予算（第 1 号）	原案可決
議案第 12 号	名寄市議会会議規則の一部改正について	原案可決
議案第 13 号	工事請負契約の締結について〔風連中央小学校校舎・屋内運動場等改築事業（建築主体工事）〕	原案可決
議案第 14 号	工事請負契約の締結について〔風連中央小学校校舎・屋内運動場等改築事業（機械設備工事）〕	原案可決

第 2 回定例会で次の意見書を提出することに決定しました。

学校給食費の無料化及び給食費負担の軽減を求める意見書

地方財政の充実・強化を求める意見書

義務教育費国庫負担制度堅持・負担率 1/2 への復元、教職員の超勤解消と「30 人以下学級」の実現、「子どもの貧困」解消など教育予算確保・拡充と就学保障に向けた意見書

平成 29 年度北海道最低賃金改正等に関する意見書

ライドシェアの導入ではなく安心・安全タクシーを求める意見書

一般質問



農業・農村振興はいかに

市民連合・凜風会 山崎 真由美 議員

問 担い手支援によりめざす姿は

農家戸数の減少や高齢化による労働力不足が懸念される中、担い手支援と本市がめざす農業の姿とは。

答 土地利用型作物と収益性の高い作物生産の両立により持続可能な農業の構築が重要である。そのため担い手農業者の育成に向け、国の事業を活用したコスト低減や規模拡大等に向けた事業支援に引き続き取り組む。また、女性農業者個々のスキルアップやグループ活動の活性化などを目的に、「農村女性活動支援事業」を創設した。経営、栽培加工及び販売など、農業の知識や技術の習得は勿論のこと、働き方や農村環境を生かした経営の多角化など、農村生活がより豊かになるよう事業活用の啓発を行い、振興に努める。

問 環境整備の取り組みはいかに
公営住宅周辺における



持続可能な農業を目指して

環境美化と防犯上の環境整備は。

答 公営住宅のうち、政策空家及び一般空家については、時期に応じた維持管理を委託して実施している。夏場の草刈は、草の繁茂状況を確認し順次発注し、冬期間の除雪は、降雪状況を把握し現地確認のうえ適宜実施している。空家隣に入居中の住宅であれば、屋根雪や降雪が戸口に影響を及ぼさないように実施している。良好な環境維持が防犯上有効でもあることから、地域住民の安全確保に努めていく。**他の質問**・スポーツ振興に対する取り組みについて



安心して暮らせる街づくりを

市政クラブ 東川 孝 議員

問 開業医誘致制度創設へ

名寄市内における開業医減少に伴う、開業医誘致助成制度創設に向けた協議内容と、制度化後の情報発信を含めた誘致活動の考え方は。

答 人口減少を抱える地域においても、地域医療構想により、地域包括ケアシステム構築を推進する上でも、かかりつけ医の重要性が高まっている。かかりつけ医の現状は危機的状況と重く受け止め、誘致制度を審議中の市保健医療福祉推進協議会合同部会で、七月中旬に制度案をまとめる。制度化後の活動は、健康福祉部を中心に庁内関係部局との連携を進める。

問 森林事業の施策振興は

本市は総土地面積の6割強の森林を有しているが、間伐、皆伐、植林による循環型利用等取り組みの現状と課題は。

答 本市は市有林及び私林



50年後に夢を託しての植樹
(上川北部森林組合撮影)

の森林整備指針となる「名寄市森林整備計画」を定め、人工林を対象に整備を行っている。森林の間伐及び皆伐時期については、樹種毎に目安を決め、実施している。今後市民の財産である市有林の生産機能を高めるため、間伐事業等の森林施策推進を図り、価格動向にも十分注意を払っていく。

他の質問・コンパクトシティ実現に向けた取り組みについて・官民一体となった検討の場、設置について。

一般質問



豪雨等による防災対策を

市民連合・凜風会 佐久間 誠議員

遊水地工事の状況と効果は

問 現在豊栄川の改修工事の一環として北海道が発注者となり、17線と18線間で進められている遊水地工事の進行状況と期待される効果について伺う。

答 平成29年度南側掘削・築堤・水路の造成をし、平成35年度完成予定。下流遊水地の処理能力の2倍あり名寄川との合流点の流量を約半分に低減。豊栄川沿いの住宅地への冠水被害は軽減される。

問 排水路における定期的な点検、堆積土砂等の除去や季節による開渠部の草刈りなど、どの程度の実施状況になつているか伺う。

答 排水路は大雨前にパトロールを実施。堆積土砂による排水支障箇所について床ざらいで対応。市民、地域からの情報提供箇所も現地確認の上、適宜対応している。

弥生公園の整備を

問 遠足や自然観察会などでの児童の利用もあり桜の名所である弥生公園のトイレの改修、照明の増設、雑木等の間伐で整備し地域の振興を。

答 トイレは利用状況など調査し在り方について研究したい。照明増設は必要性を検証する。雑木等の間伐は、可能なものから対応したい。

他の質問・路面清掃について
・見通し不良道路の改善・弥生共同墓地の転回広場の拡幅



豪雨による冠水被害の低減が期待され完成が待たれる豊栄川・17線遊水地



市民が主役のまちづくり

新緑風会 大石 健 二議員

ふるさと納税への取り組み

問 市のふるさと納税の29年度予算は前年比200%の2000万円が計上されている。国は返礼品の調達価格を寄付額の3割以下まで抑制するよう、各自治体に要請。これを受けて市のふるさと納税寄付金制度の取り組みと考える方は。

答 28年度は予算額1000万円のところ10001万3千円を達成、本年度も1210万5千円(6月13日現在)と前年同期の2.2倍増に。今後も特色ある特産品の選定で、市のPRや自主財源の確保に活用していく。

武四郎生誕200年をどう祝う

問 来年は、幕末の探検家・松浦武四郎の生誕200年、没後130年、北海道調査から160年、北海道と命名されたから150年を迎える大きな節目の年に当たる。北海道をはじめ流域自治体等とス

クラムを組んで進めている武四郎の遺徳と偉業を称える計画事業の構成内容は。

答 流域11市町村による連携事業は松浦武四郎展の巡回展示、8月は武四郎フォーラム、武四郎まつりなど。記念事業としては記念式典、生誕地の三重県松阪市へのツアー、絵本の製作などの企画があり、関係自治体と事業の詳細を協議していく。

他の質問・千年に一度の天塩川水系の洪水対策は・介護職員の養成・大型店に元日休業の要請を・スプレー缶の穴開け不要への取り組み



いよいよ来年は生誕200年、北海道命名から150年を迎える節目の年。(写真は松浦武四郎)

一般質問



高齢者に優しいまちづくりを

無所属の会 川口京二議員

認知症カフェについて

問 国では、認知症カフェを来年度から地域の実情において実施することと示されているが、その計画について伺う。

答 「認知症サポーターの会」会員と社会福祉士と保健師が集い、認知症の人を支えるつながりを支援し、認知症の人の家族の介護負担の軽減等を図ることを目的に、今年度認知症カフェを開催する。6月と7月に模擬認知症カフェを開催し、その後、月1回開催する予定である。

施設整備の状況について

問 市内には、特別養護老人ホームやグループホーム等があるが、施設整備の状況と今後の方針を伺う。

答 市内には、特別養護老人ホームが2カ所、介護老人保健施設が1カ所、認知症グループホームが3カ所整備されており、入所定員は6カ所合わせて334人となっている。

る。また、介護付きのケアハウスや有料老人ホームなども含めると461人分の入所・居住系の施設が整備されている。

認知症高齢者の増加が見込まれるため、認知症グループホームの新設を計画したが、参入業者が現れず、新設に至っていない状況である。認知症高齢者数の推移等を見ながら、ニーズに対応できる計画策定に向けて議論を進めたい。

他の質問・街路樹の整備



みんなで仲良く支え合い

冬季スポーツ拠点化事業



誇れるおもてなしと安心なまち

市政クラブ 佐々木 寿議員

問 JOCジュニアオリンピックカップ全日本ジュニアスキー選手権の評価と今後の取り組みを伺う。

答 今年3月に開催された大会は全国から440名の選手が参加した。スキー連盟、自衛隊、多くの企業、団体、市民の協力・支援を得て無事終了した。参加した選手、監督から雪質、雪量、競技運営、特産品のおもてなしに高い評価を受けた一方で、クロスカントリーコースや、宿泊の受け入れに課題も見られ、地元関係機関と協議、見直しを図り、次回大会に向け受け入れ態勢を整える。

悪質バイト被害防止対策

問 市立大学の新入学生がアルバイトを始める時期だが、悪質な事業者による「ブラックバイト」の被害等を未然に防止する取り組みを伺う。

答 厚労省は学生アルバイト

トの多い業界団体に労働条件の確保に向けた取り組みを進めており、学生を対象とした労働条件セミナーや若者の「使い捨て」が疑われる企業への対策強化を始めた。本学ではアルバイトに関するルールを定め、その基準を満たす求人のみ学生に情報提供している。また、労働条件相談ほつとラインやトラブル未然防止の法令等も掲示している。今後必要に応じ関係機関の指導を受けて被害防止に努める。

他の質問・地域包括ケアシステム構築の構想

問 地域包括ケアシステム構築の構想について、バウンズ事業の進捗状況を



今年3月選手約440名の参加を得たJOCジュニアオリンピック大会

一般質問



防災対応とひまわり観光

市民連合・凜風会 高野 美枝子議員

今年の防災対応について

問 台風や大雨、河川氾濫の対応や自主防災組織について。

答 昨年8月の台風では避難所を開設し、消防団と水防活動を行った。今後、浸水が深くなることが予想される地域では自主防災組織設立を支援していきたい。名寄市防災訓練では7月19日に避難訓練、8月2日に防災セミナーを実施。千年に1度の大雨による浸水を想定した訓練を行い、今後も旭川地方気象台や北海道開発局名寄事務所と連携し継続して実施する。

ひまわり観光について

問 ひまわり観光の今後の取り組みや市民参加型の観光地づくりについて、JR宗谷本線沿線自治体やJRと連携した観光推進について。

答 今年度はひまわりと星を組み合わせた事業を実施する。ひまわりの種の配布数、ボランティア参加者とも前年



期待されるひまわり観光

を上回っている。市民が自ら育てたひまわりによって観光客をもてなすことに誇りを持つ取り組みを行う。JR宗谷本線沿線地域は景観や食など各地に魅力的な資源がある。これらの観光資源を踏まえ、観光庁から「きた北海道広域観光ルート」が認定され、本市としても連携し観光事業に取り組み。また、上川北部でも取り組んでいるサイクルツーリズムでは一部区間でJRを活用するプログラムもある。

他の質問・市民皆スポーツの更なる発展と推進について



市民の健康と安心

市政クラブ 塩田 昌彦議員

地域医療を担う開業医確保は

問 名寄市の医療体制において、市立総合病院と医療機関との役割分担の現状と開業医との連携について。また、近年の開業医閉院など医師不足による市民への影響が懸念されることから、市民の健康を守る開業医の誘致対策は。

答 名寄市の医療体制は、一般診療から高度医療までを担う市立総合病院を中心に、医療機関や開業医など病診連携の体制も整っており、近隣市町村と比較して優位性を確保している。しかし、市民にとって最も身近で安心して受診できる開業医が次々と閉院し医師への負担が増大しており新たな開業医確保が急務であるため、開業医誘致助成制度を創設し、開業医確保に努める。

遊休施設の有効活用は

問 名寄市公設地方卸売市場せり場跡地の今後の対応に

ついて。

答 名寄市公共施設等総合管理計画の庁内ワーキンググループで施設の活用を議論し対応方針を決定する。

問 平成27年度内に考えをまとめるとしていたが。

答 せり場跡地は築40年を経過した老朽施設であり、耐震劣化などで活用は困難な状況である。

他の質問・地域コミュニティの醸成とまちづくりについて
・名寄大学が実施した、保育者に関するアンケート調査結果について



利活用が困難となった名寄地方公設卸売市場

一般質問



今後の交通安全と市営球場

名風会 野田 三樹也 議員

問 高齢者の交通安全について

近年、高齢者の交通事故が多発しており、全国的にも問題視されているが、本市では高齢者の交通事故を減らし無くしていくために、高齢者に対してどのような交通安全対策の取り組みを行っているのか。

答 高齢者自らが運転中や歩行中において交通ルールを順守することが事故に遭わないで済むためには必要と考えており、関係機関や団体等と協力し、交通安全の意識を高め、高齢者の特性を生かした交通安全と交通事故防止に向け取り組んでいく。

問 市営球場の現状と今後の対応

市民から市営球場は、かなりの築年数がたっており、老朽化については大丈夫なのかと心配の声を聞くが、市営球場の現状と今後の整備状況は。

答 名寄市営球場は昭和42



市営球場の再整備を

年に開設し、その後、2度の大規模な改修を経て、現在の球場として利用している。

改修には多額の費用がかかることなどにより市民や団体からの要望に沿った整備ができていない状況にある。

今後については、市全体の公共施設の整備計画とのバランスを図りながら、施設整備をする。



地域コミュニティを守れ

市民連合・凜風会 佐藤 靖 議員

問 加入率は5%〜20%

合併後この10年間で、地域コミュニティ活動が大きく変貌してきている。過疎化や高齢化に加え、民間共同住宅の建設が増えているとともに、同住宅入居者の町内会加入が少ない実態にあるのではないかと。市として実態を調査するとともに、地域コミュニティ活動を守り発展させるため、さまざまな機会です業主にに対し町内会への加入を呼びかける取り組みが必要ではないか。

答 この10年間における民間共同住宅建設は167棟1146戸。加入率について詳しいデータを把握していないが、6地区で聞き取り調査したところ加入率は5%〜20%。地域コミュニティ活動の重要性は認識しており、今後実態把握に努めるとともに、鈴石会など各種機会に町内会への協力を求めたい。

問 しつかり対応を

名寄市立総合病院では、特別交付税の伸びがあっても単年度赤字を計上した。今後の安定経営を図るため、一般会計からの繰り入れルールの見直しが必要ではないか。名寄市立大学に設定されている推薦の地域枠による入学を満たしていない状況にあるが、見直しの検討がされるのか。



この10年間で1,146戸の民間共同住宅が誕生したが、町内会加入率は5〜20%にとどまっている。

答 動向を見据え、しつかり対応、検討したい。

一般質問



経済の活性化について

市政クラブ 東 千春 議員

継続的な経済振興を

問 新築住宅の受注促進とリフォームについて。

答 3力年の運用の中から事業の成果を検証して新たに取り組むべき施策を検討する。

問 事業の担い手育成、事業の継承、婚活事業について。

答 担い手育成では従業員の資格取得支援を制度化した。事業継承は基礎データを基に支援策を検討したい。婚活事業は昨年の内容を検証し協議する。

問 今後の観光行政について。

答 なよる観光まちづくり協会では具体的な経済効果を促すために旅行業の登録に向けた検討を行っており経済効果の拡大を目指す。

問 市内発注の考えについて。

答 名寄市公契約に関する指針の基本目標にも地元優先を掲げており可能な限り受注

機会を設ける。

問 国や道の制度活用について

答 平成32年を限度とした老朽庁舎建替え支援の制度ができたが建替えの考えは。

問 スケジュール上、厳しく重要な課題の一つであることから丁寧かつ慎重な議論を進める。

問 JR宗谷本線の存続について

答 国や道、JRとの協議と活性化推進協議会について。鉄道ネットワークワーキングチームからの答申を踏まえて存続に向けた協議を深めている。今後は地域としてできることも研究する。



JR宗谷本線の存続を



農産物の差別化について

公明 高橋 伸 典 議員

農産物GAP認証取得を

問 オリンピック組織委員

会は今年3月、選手村などで提供される食材調達基準を正式決定した。その基準を満たすため、グローバルGAP日本版「JGAP」農林水産省のガイドラインに沿った都道府県GAPの取得を生産者に促している。オリンピックでは大会期間中に選手村や大会関係者の食事など約1500万食を提供する見込み。日本では、調達基準を満たしている農場は全体の約2%程度と低く、認証取得が遅れていることから、「選手村などへの食材を調達できるのか」不安視されている。名寄産食材の早期認証取得の対策は。

答 平成22年に農林水産省は、食品安全に加え、環境保全や労働安全など「農業生産行程管理（GAP）のガイドライン」を策定した。認証へ

の関心は高まっているが、市内に認証農家はまだない。安全安心をアピールし、差別化やブランド化を図る取り組みであるため、制度の内容を周知し、研修会の開催など段階的に進めていく。

問 出産祝い金の創設を

安心して出産できる都市に。

答 誕生餅の配布、未就学児の医療費無料化、紙おむつ用ごみ袋の配布、ひまわりらんど、ファミリー・サポート・センター事業等を実施し、妊娠から子育て期の切れ目ない支援を実施しており、独自の祝い金の創設は難しい。



世界一のもち米の街をアピール

一般質問



介護負担と働き方について

日本共産党 川村 幸 栄議員

介護保険法改正で市民負担は

問 一昨年の8月から2割負担が導入された利用料を来年8月から一定所得以上の人は3割負担となる。利用抑制や介護度の重度化につながるのではと危惧されているが。

答 単身世帯で年金収入のみで344万円以上が対象。およそ23人が対象になると試算。丁寧な利用者説明に努める。

問 高齢障がい者65歳以降は原則介護保険制度の利用を優先するとしているが、対応は。

答 申請者の状況に応じ個別に対応。制度改正の内容や運営方法など情報を注視し、適切に対応したい。

問 地域医療構想で2025年にむけて病床機能の再編・削減が進められている。「介護医療院」が創設されるという。考えは。

答 重度の要介護者を受け

入れ、看取り・ターミナルケアの機能と生活施設としての機能を兼ね備えた介護保険施設で、具体的には今後検討されること注視したい。

名寄市民の働き方は

問 非正規雇用の処遇改善や長時間労働の是正が必要。学生のアルバイト状況、保育士や教員などの働く状況は。

答 実態調査では88%がアルバイトを経験。トラブルを未然に防ぐための指導を行い、相談窓口を設置し対応している。公立保育所の正規職員は44%。非正規保育士のために労働条件改善を図っている。



教員の生命・健康を守り、子どもの教育を守るためにも長時間労働の解消を



地域資源の環境整備を

市政クラブ 山田 典 幸議員

智恵文沼の環境整備について

問 智恵文沼はひぶなの里として有名な名寄市の貴重な観光資源であるが、近年地域からは環境の悪化を心配する声が多く聞かれる。土砂等の流入・堆積の影響で排水機能が低下し、大雨の際に周辺農地への冠水被害が発生するとともに、生息する魚への影響も懸念される。治水と観光振興の両面から再整備が必要ないか。

答 農地冠水の対策は地域からも求められており、引き続き国または道に対して働きかけなど、市としてしっかりと対応していきたい。観光の面においても、改めて観光施設としての認識を深め、関係機関に働きかけていくとともに設備の維持管理や周辺環境の整備に対し支援を行っていく。

学校施設整備計画について

問 次年度からの次期名寄



貴重な観光資源の智恵文沼

市立小中学校施設整備計画策定にあたっての基本的な考え方について伺う。

答 老朽・危険校舎の年次的な改築や施設の長寿命化のための改修という視点、多様な教育スタイルに対応できる学校施設整備の在り方、ICTを活用した「次世代の学校づくり」に対応した施設整備、教員住宅の今後の整備の在り方など多方面からの検討を行うと同時に、財政状況を十分に考慮し後年に過大な負担を残さないという視点からの検討も行い、策定作業に取り組んでいく。

経済建設常任委員会所管事務調査報告

経済建設常任委員会では年間の調査研究テーマを「除排雪の調査・研究」とし、担当部署・町内会長との意見交換、道内6力所の先進地視察を経て、委員間で議論し「現行の施策をベースにサービスの向上を図るための対策が必要である」と委員会としてまとめました。

まとめにあたり、全委員の共通の認識は、現行の名寄市の除排雪サービスは一定のレベルにはあるが、降雪量が増えることすべての対応に影響が出るというギリギリのところにあるという認識で、これまでの市民の皆さんの除排雪に対する不満や不安を解消する



町内会役員と除排雪に関する意見交換会を実施。間口除雪のあり方など多くの意見が出された

には除排雪対策本部の設置などの全市的な対応と予算の増額・機械力の増強を検討すべきと判断しました。

1 新たな施策及び現行のサービスの強化・拡大

生活道路の排雪方法の改善として、生活道路・幹線道路の排雪を最低年1回全て掻き出して実施する。また排雪回数についても生活道路の状況が「道路が狭く雪を捨てる場所もなく、車もすれ違えない場合」は回数を増やさない。子どもたちの安全確保のため、通学路の壁となつている雪山の解消と交差点の見通しの確保のための排雪を強化する。高齢者・障がい者の間口除雪の実施について他市の状況を参考とし、現行の「名寄市除雪サービス等助成事

業」の収入要件の見直しによる対象者の拡充や個人で間口除雪を依頼している方への助成などを新たな施策として各部で検討を進める。現在実施している排雪ダンプ助成を少量の排雪への対応と新たに事業者が参入しやすくなるように、要綱の改正等を行う必要があるとまとめました。

2 実施にあつての必要な対策

冬期間の除排雪対策本部を設置し、各種申請、苦情の受付、委託事業者や町内会との意見交換の実施、作業の直営部門の充実などによる機動力の強化を図り、雪山・交差点対策や苦情等について迅速に対応する。安全確認、積雪の確認、交差点の状況などを適宜把握するためのパトロールの強化と作業基準の作成により、排雪時期を判断する。機械力の増強はサービス拡大・強化には不可欠であり、年次計画を立てて、計画的に機械を整備し、雪山・交差点排雪、「道路が狭く雪を捨てる場所もなく、車もすれ違



除排雪対策本部を設置し対応。(岩見沢市)

以上が経済建設常任委員会として調査研究を行ったまとめになりますが、除排雪にかかわるサービス改善は多くの市民の共通の課題でもあることから、今後においても議会で議論を進めてまいりたいと思います。

えない場合」の地域の排雪対応を図る、合わせて機動班として適宜対応できる体制（人員）の確保を図る必要があるとまとめました。

なお、生活道路の排雪方法の改善と回数の増については早期の解決は難しい点もあることから当面は特定の地域・町内会で試行的に排雪回数を増やし検証することも検討すべきです。

政務活動費とは

政務活動費は、議員の調査研究に必要な経費の一部として、会派（所属議員1人の場合も含む）に対して交付されます。【交付額は議員1人当り、月額10,000円です。】

平成28年度各会派の政務活動費概要報告

単位：円

	市政クラブ・新緑風会	市民連合・凜風会	公 明	日 本 共 産 党	名 風 会	合 計
政務活動費交付額	960,000	840,000	120,000	120,000	120,000	2,160,000
返還（未執行）	0	145,163	120,000	76,821	0	341,984
H28年度交付額	960,000	694,837	0	43,179	120,000	
支 出						
調 査 研 究 費	923,612	510,224	0	0	130,463	1,564,299
研 修 費	22,680	144,230	0	7,204	0	174,114
広 報 費	0	15,700	0	8,025	0	23,725
広 聴 費	0	12,800	0	0	0	12,800
要望・陳情活動費	0	0	0	0	0	0
会 議 費	0	0	0	0	0	0
資 料 作 成 費	0	9,783	0	3,002	0	12,785
資 料 購 入 費	23,814	2,100	0	24,948	0	50,862
人 件 費	0	0	0	0	0	0
事 務 所 費	0	0	0	0	0	0
計	970,106	771,674	0	43,179	130,463	1,838,585

掲載していませんが、交付額を超えた費用については、会派で負担しています。

議員協議会（平成29年6月9日、23日）

今定例会中2回の議員協議会が開かれ、6月9日には株式会社名寄振興公社の平成28年度事業報告と平成29年度の事業計画について報告がありました。

平成28年度事業概況では、近年で最も早くオープンすることができたピヤシリスキー場のリフト輸送人員は前年比112・18%となったことが報告され、イベントカレンダーを道北エリアに拡大配布フェイスブックによる情報発信などタイムリーな情報発信に努めたことやゲレンデ中腹にある「ログパラマ」での限定メニュー販売など様々な対策を講じてきたとの説明がありました。また、なよろ温泉サンピラーについては、リピーターの定着化と合宿・団体など新規顧客の開拓を営業の柱として取り組んだが、総利用者は前年比で95・63%、宿泊利用同94・21%にとどまったと説明がありました。

6月23日には、冒頭加藤市長より市立総合病院での薬剤

不明に対する経過報告があり、その後、地方創生関連交付金（加速化・推進）効果検証について、公の施設に関する使用料の設定基準（案）について説明がありました。公の施設使用料については、減免措置、利用者区分の統一、時間帯などの基準や冷暖房料金設定の考え方などの説明があり、平成30年4月1日実施にむけ、第3回定例会に提案したいとの説明がありました。



案件の説明を受け、慎重な質疑が行われた議員協議会

議会各会派の政務活動報告

市政クラブ・新緑風会

平成28年度は道外視察を11月15日～18日の日程で行いました。秋田県鹿角市では、スポーツ振興について視察を行い、鹿角トレーニングセンターを核とした合宿・大会誘致の取り組みについて学びました。岩手県紫波町では「オガールプロジェクト」について視察を行い、公民連携による都市整備事業の手法や理念について学びました。

岩手県雫石町では「議会広報の編集と発行について」、岩手県陸前高田市では「新図書館の基本構想」、宮城県仙台市では「仙台市天文台の運営」について、それぞれ視察を行い本市において課題とされている事項をはじめ、教育的施設を活用した自治体の活性化策について調査・研究を行いました。



紫波町オガールプロジェクトの全体図(パンフレットより)

市民連合・凜風会

平成28年度は道外視察として11月14日～17日の日程で宮城県岩沼市「お買い物ミニデイ事業」「千年希望の丘事業等災害復興状況」山形県上山市「蔵王坊平アスリートヴィレッジ構想推進事業」山形県米沢市「議会改革・議会運営」福島県南相馬市「中央図書館の概要と取組」「災害時における議員行動マニュアル」「災害復興状況現地視察」姉妹都市山形県鶴岡市「鶴岡いきいきまちづくり事業」「協働の推進(鶴岡パートナーズ)」について視察し、とても参考になりました。

町村議会、国保制度・政府予算・財政計画・財政一覧・財政指標の見方研修会等にも参加し情報の収集に努めました。

また報告会を市内3か所で開催し活発で有意義な意見交換をかわしました。



合併特別債を活用し平成29年8月末完成予定の「鶴岡市 新文化会館」

日本共産党

市町村議会議員研修会 8月23日
講演「自治体の真の『地方創生』を考える」、分科会では「子ども子育て支援と自治体の役割」について学ぶために申し込みましたが、台風の影響でJR全線不通となり、やむなく不参加。

上川管内町村議会議員研修会 10月26日(美瑛町)

町村議会議員研修会でしたが、平成30年度から都道府県化される国民健康保険について学ぶため、オブザーバー参加をさせてもらいました。

道の担当課長より国保都道府県単位の概要について、負担の公平化、財政の安定化、事務の広域化推進、さらには保険料(税)の収納率向上とされていることなどが説明されました。

引き続き国保税の負担軽減のために頑張りたいと思います。



議会報告をおこなう

名風会

平成28年度は11月15日から18日の日程で道外視察を市政クラブ・新緑風会と合同で行いました。

秋田県鹿角市では「スポーツ振興について」、岩手県紫波町では「オガール紫波の図書館を中心とした運営について」、岩手県雫石町では「議会報について」、岩手県陸前高田市では「図書館行政について」、宮城県仙台市では「仙台市立天文台の運営について」、各自治体の取り組みを学ぶことができました。

本市において、今後課題とされている事項について、一つ一つさらに研究し、活性化できるよう、調査研究結果を活用してまいります。



スポーツ振興に取り組む鹿角トレーニングセンター

議会報特別委員会視察報告

石狩市・留萌市

4月26、27日石狩市、留萌市を視察・研修を行いました。

一日目は石狩市議会を訪問し、特色ある紙面づくりなどについて視察・研修を行いました。石狩市の議会報は市の広報誌とともに札幌市の業者へ委託。デザイン性などの優位性とともに委託経費の節約となっていました。プロポーザル方式の入札となっており、参加業者は市民へのアンケート調査にも取り組んでいました。視察後の委員間の意見交換では、「レイアウト等専門家がやっていることもあり、見やすさなど大いに参考になる。」「一色刷りであるが、4色を使い分けて、毎回変化をつけているのでよいと思う。」などの意見とともに、「議員自ら編集等を行い、発行日についても定例議会終了後なるべく日をおかずに発行されていることなど」議会だより「なよろ」の良さを認識することができた。」との感想も出さ

れました。



特色ある紙面づくりについて説明を受ける（石狩市議会）

二日目は留萌市議会で、「議会かわら版」発行などについて視察・研修を行いました。広報常任委員会の委員8名が、議会広報作業班4名、お知らせ掲示板（かわら版）作業班4名に分かれて活動。議会広報は年4回、費用節減を目的に平成16年5月より市の広報誌の中に組み込んで発行されています。また、市民に親しまれる議会だよりとするために公募によりネーミングを、議会です。こんにちは

に変更するなどの工夫をしています。

議会かわら版は委員手作りのA3版片面カラー刷り（ポスター状）を月1回年12回を原則として、市内公共施設など9カ所に掲示しています。読む議会だよりから、見る議会だよりへと取り組みをすすめています。内容は定例議会の案内等が多いようでしたが、市民へのアピール度は大きいものがあると感じ、私たちもぜひ取り組んでみたいとの感想が全委員から出されました。市民の皆さんにより親しんでいただける議会だよりづくりに取り組みを進めたいと思います。



見る議会だよりへ「議会かわら版」の取り組みを学ぶ（留萌市議会）

本定例会にはピヤシリ大学12人を含め、延べ28人の市民の方に議会の傍聴にきていただきました。一人でも多くの市民の皆さんが市政に関心を持って議会に足を運んでいただけることをお待ちしております。



議会改革調査特別委員会視察報告

紋別市・栗山町・芽室町

議会改革調査特別委員会は4月19日から21日までの3日間の日程で、紋別市、栗山町、芽室町の3自治体それぞれの議会における議会改革の取り組み及び議会運営について視察研修を行いました。

紋別市議会は、平成26年7月の選挙より議員定数を18名から16名へ削減、それに伴い



2 常任委員会での議会運営を学ぶ(紋別市議会)

3 常任委員会から2 常任委員会へと変更し議会活動を行っており、今後の定数議論の参考とするため視察先として選定をしました。定数削減の議論において、賛成意見として、市民から削減の声が大きい、行財政改革の観点から議員も身を削るべきなどの意見があり、反対意見としては市民の幅広い意見や少数意見の反映のためには削減すべきではない、などの意見があり最終的には賛成多数で削減になったとのことでした。その他2 委員会での活動についての状況について説明を受けました。

栗山町議会は平成18年に全国初となる議会基本条例を制定した議会改革の先進自治体であり、栗山町議会基本条例の特徴的事項とそれに基づく実践例について学びました。議会報告会は毎年3月に実施し、12会場延べ200人以上が参加しているとのこと。また町民や団体等との意見交

換のため議会主催による「一般会議」を開催して、議員と町民が自由に意見交換する場を作っています。



議会改革先進自治体の実践例を学ぶ(栗山町議会)

芽室町議会は議会改革度ランキングにおいて、2年連続で全国1位となるなど議会改革の最先端を行く議会です。平成25年より議会開議の主導権確立と委員会活動と議員活動を機動的に行うために通年議会制を導入しています。また、議会活性化計画を策定し、年度毎に評価書としてまとめ



議場にて活発な議会改革の取り組みについて説明を受ける(芽室町議会)

ることにより、議会の見える化とPDCAサイクルを確立させています。他にも議会だよりの毎月発行や「議会フォーラム」開催による住民との意見交換など多くの取り組みをされています。

今回の3自治体それぞれにおいて参考にすべき点が多くあり、大変有意義な視察となりました。今後、名寄市議会としても市民の福祉の向上を目的とした議会改革をこれまでに進めてまいります。

常任委員会委員等の選任

3月31日付けで、大石健二議員から議会運営委員会委員及び議会改革調査特別委員会委員の辞任願が議長に提出されたことから、これを受理し、辞任の許可及び後任委員を選任し、第2回臨時会において次のとおり委員の選任を報告しました。

《変更後の委員会構成》

議会運営委員会

委員長 山田典幸
副委員長 奥村英俊
委員 東千春
熊谷吉正

東川孝義
塩田昌彦
高野美枝子
山崎真由美

議会改革調査特別委員会

委員長 山田典幸
副委員長 奥村英俊
委員 東千春
熊谷吉正

議会改革調査特別委員会

東川孝義 委員

議会運営委員会

塩田昌彦 委員

市議会からのお知らせ

市議会では、議会基本条例に基づいて、市民の皆さんに議会の活動に関する情報公開を積極的に行っています。本会議の会議録を公開するとともに、常任委員会、議会運営委員会及び特別委員会の概要、議会中継（録画含む）も名寄市議会ホームページからご覧いただくことができます。（ホームページのアドレスは20頁の下記に記載しています。）

会派構成が変わりました

市民連合・凜風会

会長 熊谷吉正
副会長 佐藤靖
幹事長 奥村英俊
副幹事長・会計 高野美枝子

市政クラブ

会長 東千春
副会長 佐々木寿
幹事長 山田典幸
副幹事長 塩田昌彦
会計 東川孝義
黒井徹

公明

代表 高橋伸典

日本共産党

代表 川村幸栄

新緑風会

代表 大石健二

無所属の会

代表 川口京二

名風会

代表 野田三樹也

林活議連でサクラを植樹

森林・林業・林産業活性化推進名寄市議員連盟（東川孝義会長）では、5月16日名寄健康の森でサクラの植樹を行いました。植えたのはエゾヤマザクラで北海道山林種苗協同組合青年部による緑化事業で、中富良野町の安藤山林緑化より無償提供して頂きました。1m前後の大きさの苗木を、事前に役員数名で掘つておいた穴の中へ、振興公社職員の指導を受けながら、一本一本丁寧に植えました。添え木を付け、アリの侵入を防ぐ石灰を撒いて植樹を終えました。今後は草刈等の管理を行い、元気に美しいサクラの花を咲かせ、市民の憩いの場になればと思います。



植樹したエゾヤマザクラの成長を願う

総務文教常任委員会活動報告

当委員会では4月13日に平成29年第3回委員会を開催し、各会派で視察した図書館についての情報交換を行いました。岩手県紫波町オガールプロジエクトでは民間活力を活かした取り組み、陸前高田市では商業施設との複合施設の図書館構想、南相馬市では市民・来街者への情報の受発信機能を併せ持つ図書館などの報告を行いました。

また、今年度の取り組みとして市内の所管する特に老朽化した施設視察、市立大学との協議を行うこととしました。5月25日は第4回委員会を行いました。午前にはスポーツ・合宿推進課の豊田太郎氏を招き、冬季スポーツ拠点化事業におけるジュニア選手育成システムなどについて伺いました。冬季スポーツの拠点化では、スポーツを行う子どもたちの底辺の育成と、市民が元気で暮らせる環境づくりの両面の発展を目指す。ジュニアの育成では名寄市内の少

年団や中高生の部活等加入調査による現状の分析を行い、今後の取り組みとして市立病院と連携したスポーツ医療学サポート、市立大学と連携した栄養・障害者スポーツのサポートプログラムなどの説明を受けました。

午後からの委員会では、総務部からはふるさと応援寄付、行財政改革、職員研修、防災、企画課からは宗谷本線活性化推進協議会や路線バスについてなどの報告を受けました。

教育委員会からは教育長から教育に関する基本的な考えを伺った後に各担当からの報告を受けました。学校教育課からICT活用の推進方策など、生涯学習課からはEN RAYホールの利用状況と今年度の予定事業等

について、それぞれ報告を伺いました。

市立大学からは学生の在籍状況、入学・志願状況、国家試験等の状況について、新棟建設の進捗や新図書館の利用状況、食堂・売店の新設及び運営等について伺いました。



豊田氏から構想を聞く

議会スナツプ

チャレンジデー

(5月31日)

今年で24回目を迎えたチャレンジデー綱引き大会は、昨年より17チーム多い157チーム(小学生69チーム、一般88チーム)が参加し、スポーツセンター内は、選手皆さんの熱気溢れる中で開催されました。議員チームは一回戦不戦勝で勝ち上がり、その間、他の試合を観戦しながら、二回戦に臨みました。二回戦の対戦相手は高校生で、一本目は一気に持つて行かれました。二本目は選手の交代を行い、何とか同点となり、三本目は若さに負け、敗退しました。が、楽しく良い汗を流しました。



気力を振り絞って、力を合わせて綱を引く

市民福祉常任委員会活動報告

当委員会では5月29日に委員会を開催し、市民部と健康福祉部及び市立総合病院から第2回定例会提出予定議案の説明ほか関連事業の概要及び経過報告が行われました。市民部からは、平成30年度より国民健康保険の財源運営が現行の市町村単位から都道府県単位に移行されることに伴う国民健康保険税の仮算定の結果と検討課題、今後のスケジュールについて報告が行われ、仮算定確定は9月中旬、



市民の健康意識を高める「なよろ健康まつり」
(写真は昨年の「なよろ健康まつり」の様子)

納付金(予算額)等の通知は平成30年1月になるとのこと。健康福祉部からは、国や道の中間評価の策定状況に合わせて本年度に中間評価を行う名寄市健康増進計画「健康なよろ21(第2次)」についての取り組み。閉院などによる市内開業医対策では、開業医誘致助成制度の創設に向けて現在、名寄市保健医療福祉推進協議会で協議をはじめ、今後は検討委員会の設置などにより7月をめどに制度内容を検討する。「第3次障がい者福祉計画」と「第5期障がい福祉実施計画」の策定に向け、名寄市保健医療福祉推進協議会への諮問及びアンケートを実施、分析後8月までに素案策定の予定。保育所の入所児童状況は定員360名中344名入所だが待機者の現状では求職等6名のほかにもニーズがあると説明。平成30年度からの「第7期高齢者保健医療福祉計画・介護保険事業計画」の策定スケ

ジュールでは、5月16日に保健医療・高齢者合同部会を開催し、計画に盛り込む必須事項の確認とアンケート実施後、分析し、素案を作成する報告を受けた。市立総合病院からは、平成28年度病院事業会計の補正予算で65件224万円の債権放棄等の理由、全体の決算概要、平成29年度の診療体制、平成30年からの地方公営企業法の全部適用に向けた今後の行程のほか、新たに165台分の駐車スペースを確保するため院内保育所及び開発建設跡地に駐車場整備すると報告説明が行われました。



来院者の駐車場問題解決に向け整備が進められる

ジュールでは、5月16日に保健医療・高齢者合同部会を開催し、計画に盛り込む必須事項の確認とアンケート実施後、分析し、素案を作成する報告を受けた。市立総合病院からは、平成28年度病院事業会計の補正予算で65件224万円の債権放棄等の理由、全体の決算概要、平成29年度の診療体制、平成30年からの地方公営企業法の全部適用に向けた今後の行程のほか、新たに165台分の駐車スペースを確保するため院内保育所及び開発建設跡地に駐車場整備すると報告説明が行われました。

議会日誌 3~6月

- 3/21 議会報特別委員会
- 3/23 経済建設常任委員会
- 3/31 市民福祉常任委員会
- 4/5 各会派代表者会議
- 4/6 北海道市議会議長会道北支部議長会(留萌市)
- 4/10 経済建設常任委員会
- 4/12 帯広市議会行政視察
- 4/13 議会運営委員会
- 4/14 総務文教常任委員会
北海道市議会議長会監事会・正副会長会議・役員会(赤平市)

- 4/17 議会報告会
- 4/18 議会報告会
- 4/25 北海道議長会定期総会(旭川市)
- 4/28 経済建設常任委員会
- 5/2 各会派代表者会議
- 5/8 議会運営委員会
- 5/10 平成29年第2回臨時会
- 5/15 議会改革調査特別委員会
- 5/17 議会報告会市民意見要望提言の市長申し入れ
- 5/17 上川北部市町村議会議長会(剣淵町)
- 5/19 経済建設常任委員会

- 5/23 ~ 24 全国市議会議長会
理事会・定期総会(東京都)
- 5/25 総務文教常任委員会
- 5/29 市民福祉常任委員会
- 5/30 議会報告会市長回答
- 6/1 議会改革調査特別委員会
- 6/2 各会派代表者会議
- 6/5 経済建設常任委員会
- 6/6 議会運営委員会
- 6/6 議会報特別委員会
- 6/9 平成29年第2回定例会開会
- 6/9 議員協議会
- 6/21 議会運営委員会
- 6/23 定例会閉会
議員協議会

経済建設常任委員会活動報告

3月23日に開催した委員会では、経済部から平成28年度食肉センター改修工事予算の施行について、平成28年度における中小企業振興条例関係補助金や住宅改修等推進事業等の会議の開催内容、市と振興公社で設置している経営安定戦略プロジェクトの開催内容について報告を受け質疑を行いました。

その後、委員会では昨年1年間調査・研究した「除排雪について」のまとめの意見交換を行いました。4月10日は、経済部から中小企業振興審議会の会議録について、産官金による経済サポートネットワークの会議録について、今年3月に開催されたJOCジュニアオリンピックカップ全日本ジュニアスキー選手権大会の経済効果について説明を受け質疑を行いました。4月28日は、建設水道部から平成28年度除排雪の状況について報告を受け質疑を行いました。5月19日は、経済部から

平成29年度所管する主な事業について説明を受け質疑を行いました。建設水道部から平成29年度所管する主な事業について説明を受け質疑を行いました。その後、「除排雪について」のまとめを行いました。6月5日は、経済部営業戦略室とともに、なよろ温泉サンピラーの視察を行いました。振興公社職員の説明を受けながら、温浴施設、ホテル、食堂等の現状を確認しました。その後、振興公社職員と営業戦略室、経済建設常任委員会による温泉サンピラーについて意見交換を行いました。



なよろ温泉サンピラーの現状の説明を受ける

議会運営委員会活動報告

平成29年第2回定例会の日程及び議事運営等を協議するため、6月6日と21日に委員会を開催しました。

6月6日の委員会では、会期を6月9日から23日までの15日間とすること、一般質問は6月21日に6名、22日に6名、23日に3名、合計15名の議員が登壇することを確認しました。上程議案は12件、報告7件諮問1件で、議会提出議案として、会議への欠席に関する規定及び委員会の欠席について条項を追加するための名寄市議会会議規則の一部改正についてを提出することを確認しました。

6月21日の委員会では、最終日の本会議の議事日程及び議案等について協議を行い、2件の追加議案が上程される予定であること、経済建設常任委員会の所管事務調査報告を行うこと、議会報特別委員会及び議会改革調査特別委員会が委員の派遣報告を行うことなどを確認しました。

住民の声で議会の活性化を!!

議会を傍聴しませんか!

定例会は3月・6月・9月・12月の年4回、また、臨時会も必要に応じて開催されます。
 ◇議場での音声を鮮明に聴くため、携帯型受信機を用意しています。
 ◇問い合わせは議会事務局 ☎ 01654-3-2111へお申し出ください。

☆ き ぽ う ☆



風連町で子育てをしてみても

名寄市風連町西町 田中 理枝

名寄市風連町に転入して5年目。転校初日に校長室で号泣していた長女は早いもので6年生になり、2年生の次女はすっかり地元の子になっています。

車で数分のところにスキー場、プール、体育館の設備があり、風連スポーツクラブポポで本格的に基礎から教えてもらっています。そして指導して下さる人材の豊富さにも驚くばかりです。

学校では稲作、畑作、陶芸など授業の中で貴重な体験をしています。そこでも地域の方々から子どもたちのためにと惜しみない協力をいただき、親だけでは教えられない様々なことを地域という大きな器の中でお世話になっています。これからも、学校、児童クラブ、町内会などを通して、親子ともに地域の方々から風連の良さを教えていただけたらと思います。



希望に寄り添える栄養士に

名寄市西7条南9丁目 明石 真実

私は、名寄市立大学の第2期生として栄養学科を卒業し、

現在は市内の病院で管理栄養士として働いています。働く中で、患者さんに満足してもらえる食事の提供、食生活のアドバイスをする難しさを感じることも多いですが、食べ物や食習慣に気をつけることは病気の予防や改善へつながることを実感し、食を通じて人の健康に関われる仕事にやりがいを感じています。

食事提供や栄養相談をする上で健康を重視し食事内容を制限することはもちろん大切です。でも、食事は一生を通じて必要なものであるからこそ、おいしさや楽しみを重視することも同じくらい大切なのだと思っています。

まだまだ勉強不足なこともあります。患者さんの希望する食事に寄り添い、生活の質を高める栄養管理ができる栄養士になれるようこれからも頑張っていきたいです。

表紙の写真は「名寄ピヤシリ西クラブ野球少年団」です

わたしたち「名寄ピヤシリ西クラブ野球少年団」は、平日は西小グラウンドで練習を積み、週末は練習試合や公式戦を行っています。今年は学童北北海道大会とホクレン杯全道大会に出場することができました。これからも仲間としっかり活動して、おもいっきり野球を楽しみたいと思います。

全国から名寄市へ行政視察に

名寄市議会では、議員行政視察の受け入れを行っています。

平成28年度は12件75人が来名されました。平成29年度は7月末で帯広市議会、山口県周南市議会、徳島県徳島市議会の3議会が来名されました。8月以降も行政視察の申し込みをいただいています。

本市の施策が注目されることで、交流人口の増加につながることが期待されています。

編集後記

6月9日開会した今定例会は14人の議員が一般質問を行い活発な議論が展開され、6月23日閉会しました。市内ではアスパラまつりに始まり、白樺まつり、てっしまつりなど多くの市民が催しを楽しみました。平成28年度の議会各会派が実施した調査研究のための政務活動と活動費概要がまとまり、報告されています。

3常任委員会では、委員会の取り組みや活動状況などが報告され、中でも経済建設常任委員会では、市民の関心が最も高い除排雪の調査・研究をテーマに先進地視察を行い、名寄市の除排雪に活かすための報告をしています。議会改革調査特別委員会では、議会に対する市民の皆様の意見や要望をお聞きするためのアンケート調査を行いました。議会特別委員会では、親しみやすく、わかりやすい紙面作りを心がけ議会だよりを作成してまいります。

(昌)

